



本室蘭中学校区 コミュニティ・スクールだより

令和6年3月15日 第3号 発行者 本室蘭中学校区学校運営協議会



令和5年度 第3回学校運営協議会が開催されました

令和5年度3回目の学校運営協議会を2月28日(水)に開催いたしました。今回の協議会では、まず始めに各校の校長より『令和5年度の学校評価』について説明があり、委員の皆様から質問やご意見をたくさんいただきました。その後、『令和6年度の学校経営方針の方向性』について各校の校長より説明があり、こちらも質問やご意見にお答えする形で協議を進め、委員の皆様にご承認していただくことができました。

後半は、第2回目の学校運営協議会(11月7日実施)以降の各校の教育活動や児童・生徒の様子について、映像資料をもとに各校の教頭より説明がありました。小学校からは、クラブ見学や児童会活動、公開研究会、体力づくり、参観日・学年レク、出前授業等について説明がありました。中学校からは、生徒会企画(地域ゴミ拾い)、地域学習(職業体験・ものづくり体験)、小中連携の取組、進路指導等について説明がありました。

委員の皆様より出された質問やご意見、交流の内容につきましては、下記に概要をまとめておりますので、ご一読いただきますようお願いいたします。

◆協議の中で出された主な意見や質問◆

【学校評価に関わって】

- 自己有用感が低いのは心配していたが、控えめに評価をしている子が多いと聞いて安心した。
- SOSの出し方については、よい子ほど親の前でがんばってしまい親が気づけないことが多いため、そのような子たちの思いを拾い上げられるような体制を築いてほしい。
- 書くことも大事だが、AIも進んできている。並行してうまく進められるようにお願いしたい。保護者への説明も大事にしてほしい。
- 読書の形も変わってきている。『スマホを見ている＝ゲームをしている』でない場合もあるという認識も必要と思われる。
- パソコンの利用が増えると読めるが書けない状況が生まれてくる。紙で育てることも大事にしてほしい。そのためには、子ども達に紙や書くことの大切さを伝え必要と思える指導をすることも大事ではないか。
- 新聞を読む子や新聞をとっている家庭が減ってきている。社会に目を向ける大切さを指導してほしい。
- クロームブックは、導入当初より負担感が減り、有効利用ができメリットの方が大きくなっていると感じた。

【学校経営方針の方向性に関わって】

- ピクトグラムを利用した研修の進め方には大変関心がある。
- SOSの出し方については、学校評価のところでも触れたが、『手を上げることの大切さ』『学校でも地域でも誰かが助けられること』について子ども達に話してほしい。



【その他】

- 休み時間の図書貸し出し等の図書室運営や地域の見守り、学習の補充等、地域の方々に協力をお願いして学校サポーターという形で関わっていただくことは可能か。
- ⇒町会が窓口となって協力することは可能だと思われる。来年度から取組を進めてもよい。

両校の令和6年度学校経営方針(グランドデザイン)につきましては、一部を抜粋して掲載することは難しいため、今回のコミュニティ・スクールだよりには載せておりません。次年度の始めに各校のホームページや学校便り等で皆様に周知させていただきますので、そちらで改めてご確認下さい。